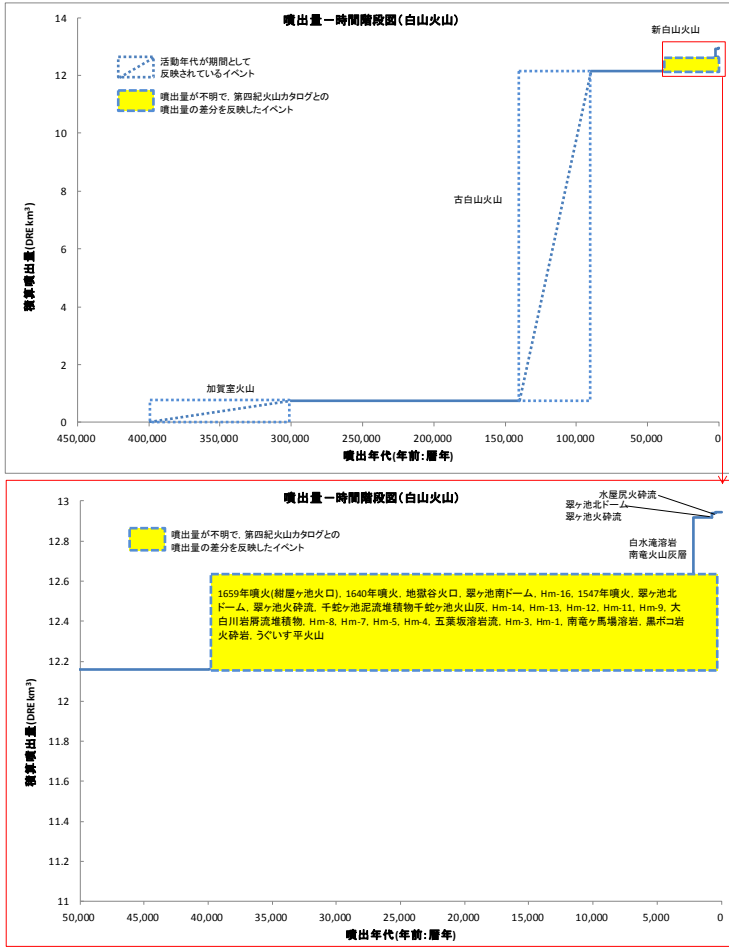


## 12) 白山火山



12 白山火山			
噴出物	年代 (年前: 暦年)	噴出量 (DRE km³)	火山カタログ の噴出量
うぐいす平火山 火砕岩	0-40,000	0.01	0.0076 DRE km³
1659年噴火 紺屋ヶ池火口	355	-	0.76 DRE km³
1640年噴火 地獄谷火口	374	(0.46に包含)	
翠ヶ池南 ドーム	435	-	
水蒸気火砕流 堆積物 Hm-16	458-460	0.005 (その他 を46に包含)	
1547年噴火 (詳細不明)	467	(0.46に包含)	
翠ヶ池北 ドーム	775	0.02	
千蛇ヶ池火口 千蛇ヶ池泥流 (白熱変質泥流)	972	-	
Hm-14	1100	-	
Hm-13	1500	-	
Hm-12	1750 <sup>(*)</sup>	-	
Hm-11	2000 <sup>(*)</sup>	-	
白水滝溶岩 屑ヶ峰溶岩層 南電火山灰層 (Hm-10)	2200	0.29	
Hm-9	4550	(0.46に包含)	
大川川岩屑 流堆積物	5050 <sup>(*)</sup>	-	
Hm-8	5550	-	
Hm-7	5900	-	
Hm-5	7000	-	
Hm-4	8550	(0.46に包含)	
Hm-3	9050	-	
Hm-1	9550	-	
黒ボコ岩火 砕流	12,820	(0.46に包含)	
南電ヶ馬場 溶岩層	355-40,000 (全体を包含)	(0.46)	
大次峰溶岩層	-	-	11.4 DRE km³
清浄ヶ原 溶岩層	-	-	
白山火山 溶岩層 初期火砕流 堆積物	90,000- 140,000	11.4	0.76 DRE km³
小規模火山体 岩屑流 土石流	-	-	
加賀室火山 溶岩類	300,000- 400,000	0.76	

注: 水蒸気噴火, 岩屑なだけ, 泥流堆積物  
 (\*): 第四紀火山カタログによる体積との差分  
 ※1: 時間間隔を均等分配して年代を推定して反映

第 12-1 図 噴出量-時間階段図 (白山火山)

第12-1表 データセット (白山火山)

名称 <sup>注1)</sup>	種別	所在地	年代				噴出量						
			文献		噴出量	年代	文献		噴出量	積算噴出量			
			種別	年代			種別	年代					
火砕石	火砕物	新白山火山 上四路	推定	Δ	0-40,000	0-40,000	0.01	0.01 <sup>注4)</sup>	根拠未記載	Δ	0.0076	0.01 (新白山として扱済)	—
1555年噴火 短流火砕石	水蒸気噴火	AD1659	古文書解析	◎	355	—	不明	—	—	—	—	—	—
1640年噴火	降下火砕物	AD1640	古文書解析	◎	374	—	不明	—	—	—	—	(0.46に包含)	—
新白山口 (御嶽山口)	水蒸気噴火: 降下火砕物	AD1579	古文書解析	◎	435	—	不明	—	—	—	—	—	—
新白山 火砕流	AD1554-1556	古文書解析	◎	458-460	—	0.01	不明	—	—	—	—	0.005(火砕流以外は0.46 に包含)	12.945
1547年噴火	降下火砕物	AD1547	引用(古文書)	◎	467	—	不明	—	—	—	—	(0.46に包含)	—
新白山 火砕流	AD1239	引用(古文書)	◎	775	775	0.02 <sup>注4)</sup>	不明	—	—	—	—	0.02	12.94
新白山 火砕流	AD1042	古文書解析	◎	972	—	不明	—	—	—	—	—	—	—
Hm-14	水蒸気噴火: 降下火砕物	1190±100yBP 1.1, 20cal ka	引用(14C年代)	○	1100	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-13	水蒸気噴火: 降下火砕物	1570±80yBP 1.4-1.6cal ka	14C年代 引用(14C年代)	◎	1500	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-12	水蒸気噴火: 降下火砕物	1.4-2.2cal ka 1590±100yBP 2550±140yBP	層序 14C年代 14C年代	●	1750 (時間間隔を均等分配)	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-11	水蒸気噴火: 降下火砕物	1.4-2.2cal ka	層序	●	2000 (時間間隔を均等分配)	—	不明	—	—	—	—	—	—
白水湯涌岩 割ヶ峰涌岩	涌岩流	2200cal yBP 2350±70yBP 2270±50yBP	層序 14C年代 14C年代	●	2200	2200	不明	0.24 <sup>注4)</sup> 不明 0.045 <sup>注4)</sup>	根拠未記載	○	0.285	0.29	12.92
御嶽山 火砕流	降下火砕物	3190±130yBP 1700±90yBP	14C年代 14C年代	○	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-9	降下火砕物	4040±90yBP 4.4-4.7cal ka	層序 引用(14C年代)	○	4550	—	不明	—	—	—	—	(0.46に包含)	—
大白山岩層 流岩堆積物	岩層なだれ	約4400年前 4410±250yBP 4.9-5.6cal ka	引用 引用(14C年代) 引用(14C年代)	Δ	5050	—	0.13	不明	根拠未記載	Δ	—	—	—
Hm-8	降下火砕物	4260±130yBP 5-6.1cal ka	層序	●	5550	—	不明	—	—	—	—	(0.46に包含)	—
Hm-7	水蒸気噴火: 降下火砕物	5160±160yBP 5.7-6.1cal ka	14C年代 引用(14C年代)	○	5800	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-5	水蒸気噴火: 降下火砕物	700cal ka	層序 「直上にAT(Hm-5)」	●	7000	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-4(割ヶ 峰ヶ川)	涌岩流	7700±70yBP 約8000年前	引用(14C年代) 層序	○	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
岩層流	涌岩流	5.9-6.6cal ka	引用(14C年代)	○	8550	—	不明	—	—	—	—	(0.46に包含)	—
山頂部涌岩 流	涌岩流	10,960±390yBP 7810±170yBP	引用(14C年代) 14C年代	○	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
涌岩流群	涌岩流	9050±170yBP 9170±170yBP	14C年代 14C年代	○	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-3	水蒸気噴火: 降下火砕物	8.5-9.6cal ka	層序	●	9050	—	不明	—	—	—	—	—	—
Hm-1	水蒸気噴火: 降下火砕物	8520±70yBP 9.5-9.6cal ka 8800±170yBP 8900±160yBP	引用(14C年代) 引用(14C年代) 14C年代 14C年代	○	9550	—	不明	—	—	—	—	—	—
黒沢コ岩 火砕流	火砕流	10,960±390yBP以前 歴史時代	14C年代 分析域の地質特徴	○	11,711-13,611(12,820)	—	不明	—	—	—	—	(0.46に包含)	—
新白山 涌岩流	涌岩流	約3-4万年前	K-Ar年代	◎	30,000-40,000	355-40,000 (全体多包含)	不明	—	—	—	0.455 <sup>注7)</sup> (0.60より小さい)	0.46 (0.60より小さい)	12.63
次次路 涌岩流	涌岩流	不明	不明	—	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
清浄少岩 涌岩流	涌岩流	0.12±0.02Ma 0.11±0.012Ma 0.105±0.009Ma	引用(K-Ar年代) K-Ar年代 K-Ar年代	○	105,000	—	不明	—	—	—	—	—	—
新白山火山 涌岩流	涌岩流	0.09±0.03Ma 0.10±0.02Ma 0.12±0.018Ma	K-Ar年代 K-Ar年代 引用(K-Ar年代)	○	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
約期火砕流 堆積物	火砕流	0.14±0.03Ma 0.124±0.009Ma	引用(K-Ar年代) K-Ar年代	○	90,000-140,000	90,000-140,000	不明	15 <sup>注5)</sup>	—	—	11.4	11.4	12.16
大白山 火砕流	火砕流	0.140±0.013Ma 0.108±0.008Ma 0.132±0.008Ma	K-Ar年代 引用(K-Ar年代) 引用(K-Ar年代)	○	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
小規模 火山体 崩落流 土石流	崩落火山体 崩落流 土石流	不明	不明	—	—	—	不明	—	—	—	—	—	—
加賀里火山 涌岩流	崩落火山体 崩岩流	約30-40万年前 0.315±0.012Ma 0.320±0.011Ma 0.42±0.013Ma 0.318±0.007Ma	層序 K-Ar年代 K-Ar年代 K-Ar年代 引用(K-Ar年代)	●	300,000-400,000	300,000-400,000	1 2	1 <sup>注4)</sup> 断面図から推算 根拠未記載	○ Δ	0.76	0.76	0.76	0.76

注1) 名称については、より新しい知見に基づいて  
注2) 測定値の大小の中心を記した  
注3) 幅がある場合には中央値を採用した  
注4) 文献等から読み取った年代  
注5) 層序図等から読み取った年代  
注6) 層序図等から読み取った年代  
注7) 層序図等から読み取った年代  
注8) 層序図等から読み取った年代  
注9) 層序図等から読み取った年代  
注10) 層序図等から読み取った年代  
注11) 層序図等から読み取った年代  
注12) 層序図等から読み取った年代  
注13) 層序図等から読み取った年代  
注14) 層序図等から読み取った年代  
注15) 層序図等から読み取った年代  
注16) 層序図等から読み取った年代  
注17) 層序図等から読み取った年代  
注18) 層序図等から読み取った年代  
注19) 層序図等から読み取った年代  
注20) 層序図等から読み取った年代  
注21) 層序図等から読み取った年代  
注22) 層序図等から読み取った年代  
注23) 層序図等から読み取った年代  
注24) 層序図等から読み取った年代  
注25) 層序図等から読み取った年代  
注26) 層序図等から読み取った年代  
注27) 層序図等から読み取った年代  
注28) 層序図等から読み取った年代  
注29) 層序図等から読み取った年代  
注30) 層序図等から読み取った年代  
注31) 層序図等から読み取った年代  
注32) 層序図等から読み取った年代  
注33) 層序図等から読み取った年代  
注34) 層序図等から読み取った年代  
注35) 層序図等から読み取った年代  
注36) 層序図等から読み取った年代  
注37) 層序図等から読み取った年代  
注38) 層序図等から読み取った年代  
注39) 層序図等から読み取った年代  
注40) 層序図等から読み取った年代  
注41) 層序図等から読み取った年代  
注42) 層序図等から読み取った年代  
注43) 層序図等から読み取った年代  
注44) 層序図等から読み取った年代  
注45) 層序図等から読み取った年代  
注46) 層序図等から読み取った年代  
注47) 層序図等から読み取った年代  
注48) 層序図等から読み取った年代  
注49) 層序図等から読み取った年代  
注50) 層序図等から読み取った年代  
注51) 層序図等から読み取った年代  
注52) 層序図等から読み取った年代  
注53) 層序図等から読み取った年代  
注54) 層序図等から読み取った年代  
注55) 層序図等から読み取った年代  
注56) 層序図等から読み取った年代  
注57) 層序図等から読み取った年代  
注58) 層序図等から読み取った年代  
注59) 層序図等から読み取った年代  
注60) 層序図等から読み取った年代  
注61) 層序図等から読み取った年代  
注62) 層序図等から読み取った年代  
注63) 層序図等から読み取った年代  
注64) 層序図等から読み取った年代  
注65) 層序図等から読み取った年代  
注66) 層序図等から読み取った年代  
注67) 層序図等から読み取った年代  
注68) 層序図等から読み取った年代  
注69) 層序図等から読み取った年代  
注70) 層序図等から読み取った年代  
注71) 層序図等から読み取った年代  
注72) 層序図等から読み取った年代  
注73) 層序図等から読み取った年代  
注74) 層序図等から読み取った年代  
注75) 層序図等から読み取った年代  
注76) 層序図等から読み取った年代  
注77) 層序図等から読み取った年代  
注78) 層序図等から読み取った年代  
注79) 層序図等から読み取った年代  
注80) 層序図等から読み取った年代  
注81) 層序図等から読み取った年代  
注82) 層序図等から読み取った年代  
注83) 層序図等から読み取った年代  
注84) 層序図等から読み取った年代  
注85) 層序図等から読み取った年代  
注86) 層序図等から読み取った年代  
注87) 層序図等から読み取った年代  
注88) 層序図等から読み取った年代  
注89) 層序図等から読み取った年代  
注90) 層序図等から読み取った年代  
注91) 層序図等から読み取った年代  
注92) 層序図等から読み取った年代  
注93) 層序図等から読み取った年代  
注94) 層序図等から読み取った年代  
注95) 層序図等から読み取った年代  
注96) 層序図等から読み取った年代  
注97) 層序図等から読み取った年代  
注98) 層序図等から読み取った年代  
注99) 層序図等から読み取った年代  
注100) 層序図等から読み取った年代

第12-2表(1) 活動履歴帳票(白山火山)

12. 白山火山		データベース(DB)等による年代・体積												
噴火史の概略		主要参考文献 長岡ほか(1985)、産総研DB												
活動期	細分・別称	噴出物	マグマ種類	噴火様式	年代	根拠	引用信頼度	体積注) DRE(km³)	根拠	引用信頼度				
うぐいす平火山	火砕丘	安山岩	火砕物、溶岩流	新白山火山と同時期	層序地形	*	△	0.01	0.01	根拠未記載	*1	△		
	1659年噴火 紺屋ヶ池火口	—	水蒸気噴火	AD1659	古文書解析	*11	◎	不明	—	—	—	—		
	1640年噴火？(詳細不明)	—	降下火砕物	AD1640	古文書解析	*11	◎	不明	—	—	—	—		
	地獄谷火口 (御前峰火口？)	—	水蒸気噴火？：降下火砕物	AD1579	古文書解析	*11	◎	不明	—	—	—	—		
	翠ヶ池南ドーム 水屋尻火砕流堆積物 Hm-16	安山岩	溶岩ドーム 火砕流 降下火砕物	AD1554-1556	古文書解析	*11	◎	0.01	根拠未記載(火砕流)	+14	△	△		
	1547年噴火(詳細不明)	—	降下火砕物	AD1547	引用(古文書)	*11	◎	不明	—	—	—	—		
	翠ヶ池北ドーム 翠ヶ池火砕流(翠ヶ池火口) Hm-15	安山岩	火砕流	AD1239 680±40cal yBP 700±110yBP	引用(古文書) <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代	*11 *12 *15	◎ ◎ ○	0.02	等層厚線から概算	+12	○	○		
	千蛇ヶ池火口： 千蛇ヶ池泥流堆積物 (白堊要質泥流) 千蛇ヶ池火山灰	—	水蒸気噴火： 降下火砕物、泥流	AD1042	古文書解析	*11	◎	不明	—	—	—	—		
	Hm-14	—	水蒸気噴火：降下火砕物	1190±100yBP 1-1.2cal ka	引用( <sup>14</sup> C年代)	DB	○	不明	—	—	—	—		
	Hm-13	—	水蒸気噴火：降下火砕物	1570±80yBP 1.4-1.6cal ka 1190±100yBP	<sup>14</sup> C年代 引用( <sup>14</sup> C年代) <sup>14</sup> C年代	*15 DB *15	○ ◎ ◎	不明	—	—	—	—		
	Hm-12	—	水蒸気噴火：降下火砕物	1.4-2.2cal ka 1590±100yBP 2650±140yBP	層序 <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代	DB *15 *15	● ◎ △	不明	—	—	—	—		
	Hm-11	—	水蒸気噴火：降下火砕物	1.4-2.2cal ka	層序	DB	●	不明	—	—	—	—		
	新白山火山 数万年前～ 現在 <sup>*1</sup>	御前期 III期	白水滝溶岩 斜ヶ峰溶岩層 南竜火山灰層(Hm-10)	安山岩	溶岩流 溶岩ドーム 降下火砕物、火砕流	2200cal yBP 2050±70yBP 2270±60yBP 0.01±0.01Ma 3160±130yBP 1700±90yBP 3330±170yBP	層序 <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代 引用(K-Ar年代) <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代	*4 *4 *4 *15 *15 *15	◎ ◎ ◎ △ ◎ ◎	0.24 不明 0.045 0.01	根拠未記載 等層厚線から概算 GIS算出体積	+12 — +16	○ — ○	
			Hm-9	—	降下火砕物	4040±90yBP 4.4-4.7cal ka	<sup>14</sup> C年代 引用( <sup>14</sup> C年代)	*15 DB	○ ◎	不明	—	—	—	—
			御前期 II期	大白川岩屑流堆積物	—	岩屑なだれ	約4400年前 4410±220yBP 4.9-5.4cal ka	引用 引用( <sup>14</sup> C年代) 引用( <sup>14</sup> C年代)	*2 DB DB	△ ◎ ◎	0.13	根拠未記載	+5	△
		Hm-8		—	降下火砕物	4260±130yBP 5-6.1cal ka	<sup>14</sup> C年代 層序	*15 DB	◎ ●	不明	—	—	—	—
		Hm-7		—	水蒸気噴火：降下火砕物	5160±160yBP 5.7-6.1cal ka	<sup>14</sup> C年代 引用( <sup>14</sup> C年代)	*15 DB	◎ ◎	不明	—	—	—	—
		Hm-5		—	水蒸気噴火：降下火砕物	7cal ka	層序 (層上にAT-Hm-6)	DB	●	不明	—	—	—	—
		御前期 I期	Hm-4(弥陀ヶ原子フラ) 五葉坂溶岩流(山頂部溶岩類、 御前峰溶岩流群)	安山岩	溶岩流、降下火砕物	7700±70yBP 約8000年前 8.5-8.6cal ka 10,960±390yBP 7810±170yBP 8050±170yBP 9170±170yBP	引用( <sup>14</sup> C年代) 層序 <sup>14</sup> C年代 引用( <sup>14</sup> C年代) <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代	DB *3 DB *13 *15 *15 *15	◎ ◎ ◎ △ ◎ ◎ △	不明	—	—	—	—
			Hm-3	—	水蒸気噴火：降下火砕物	8.5-9.6cal ka (Hm-2-U-0k1 <sup>+</sup> )	層序	DB	●	不明	—	—	—	—
Hm-1			—	水蒸気噴火：降下火砕物	8520±70yBP 9.5-9.6cal ka 6950±170yBP 6830±840yBP	引用( <sup>14</sup> C年代) 引用( <sup>14</sup> C年代) <sup>14</sup> C年代 <sup>14</sup> C年代	DB DB *15 *15	◎ ◎ △ △	不明	—	—	—	—	
御前期		風ボコ岩火砕流	安山岩	火砕流	10,960±390yBP以前 歴史時代	<sup>14</sup> C年代 分布域の地質特徴	*14 *15	△ ◎	不明	—	—	—	—	
	南竜ヶ馬場溶岩類 (南龍溶岩流？)	安山岩	溶岩流	約3～4万年前	K-Ar年代	*4	◎	不明	—	—	—	—		
?	(新白山？： 大次峰期)	大次峰溶岩類	安山岩	溶岩流	不明	—	—	不明	—	—	—	—		
古白山火山 0.11- 0.16Ma <sup>*4</sup> 0.10- 0.14Ma <sup>*1</sup>	III期	清浄ヶ原溶岩類 (六万山溶岩？)	安山岩	溶岩流	0.12±0.02Ma 0.111±0.012Ma 0.105±0.009Ma	引用(K-Ar年代) K-Ar年代 K-Ar年代	*8 *6 *6	◎ ◎ ◎	不明	—	—	—		
		II期	古白山火山溶岩類 初期火砕流堆積物 (大白川火砕流)	安山岩～ デイサイト	溶岩流 火砕流	0.09±0.03Ma 0.10±0.02Ma 0.12±0.01Ma 0.14±0.03Ma 0.124±0.009Ma 0.140±0.013Ma 0.108±0.008Ma 0.132±0.008Ma	K-Ar年代 K-Ar年代 引用(K-Ar年代) 引用(K-Ar年代) K-Ar年代 K-Ar年代 引用(K-Ar年代) 引用(K-Ar年代)	*8 *8 *8 *8 *6 *6 *11 *11	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	不明	15 <sup>*7</sup>	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎		
	I期		小規模火山体、 岩屑流、土石流	—	成層火山体 岩屑なだれ、土石流	不明	—	—	不明	—	—	—	—	
加賀室火山 0.31- 0.32Ma <sup>*4</sup>	加賀室火山	加賀室火山溶岩類	安山岩	成層火山体： 溶岩流、火砕流 火山砕屑物、泥流	約30～40万年前 0.315±0.012Ma 0.320±0.011Ma 0.427±0.015Ma 0.318±0.007Ma	層序 K-Ar年代 K-Ar年代 K-Ar年代 引用(K-Ar年代)	*5 *6 *6 *6 *11	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	1 2	1 <sup>*8</sup>	断面図から概算 根拠未記載	+9 +10	◎ △	

※1：第四紀火山カタログ委員会(1999)を引用  
※2：文献中の階段図等から読み取った値  
注) DREに換算されている場合は斜体で表記した  
・放射年代：◎ 直接付録文、○ 講演要旨等  
△ 層序と矛盾、斜体・測定に疑問、根拠未記載  
● 信頼度の内推、期間推定を均等分配、層序  
◆ 上下層の放射年代で推定、▲ 上下層が未確定  
◎ 古文書解析、近代観測、◎

引用文献  
\*1：長岡正利、清水智、山崎正男(1985)：白山火山の地質と形成史。石川県白山自然保護センター研究報告、12、pp.9-24。  
\*2：東野外志男(1991)：白山火山の形成史概要。白山火山噴火活動調査報告。石川県白山自然保護センター、pp.3-8。  
\*3：高橋正樹、小林智夫、編(2000)：白山火山—過去の噴火を記録する溶岩と火口群をめぐる—。中部、近畿、中国の火山フィールドガイド 日本の火山⑥。築地書館、pp.65-82  
\*4：北原智郎、堀 伸三郎、小川義厚、前川秀和、石田幸首(2000)：新白山火山の層序区分—年代測定結果による検討—。日本火山学会講演予稿集、2、pp.153。  
\*5：東野外志男(2014)：新編 白山火山。石川県自然保護センター編、21p。  
\*6：東野外志男、長尾敬介、坂谷徹丸、坂田章吉、山崎正男(1984)：白山火山及び大日ヶ岳火山のK-Ar年代。石川県白山自然保護センター研究報告、10、pp.23-29。  
\*7：山崎正男、中西信弘、松原幹夫(1968)：白山火山の形成史。火山、2、14、pp.32-43。  
\*8：瀧寄淳史、東野外志男、梅田浩司、榊瀬充史、林 信太郎(1999)：古白山火山の溶岩のK-Ar年代。石川県白山自然保護センター研究報告、26、pp.7-11。  
\*9：長岡正利、岩田次男、東野外志男、山崎正男(1985)：加賀室火山-白山火山にさきだつ火山-。石川県白山自然保護センター研究報告、12、pp.1-8。  
\*10：長岡正利(1971)：白山火山の地質と形成史。日本火山学会講演予稿集、44、pp.53。  
\*11：東野外志男(1991)：白山火山の歴史時代の活動。白山火山噴火活動調査報告書。石川県白山自然保護センター研究報告、pp.93-107。  
\*12：田島輝久、井上公夫、守屋以智雄、長井大輔(2005)：白山火山の最近1万年間の噴火活動史。日本地球惑星科学連合講演要旨、6017-P002。  
\*13：東野外志男(2005)：新白山火山Hm-1テラスの構成物。石川県白山自然保護センター研究報告、33、pp.1-6。  
\*14：山崎正男(1986)：11. 白山火山の火砕流堆積物。文部省科学研究費自然災害特別研究。計画研究「火山噴火に伴う乾燥粉体流(火砕流等)の特質と災害」(代表者 荒牧重雄)報告書、pp.165-167。  
\*15：遠藤邦彦(1985)：白山火山地域の火山灰と泥炭層の形成過程。白山高山帯自然史調査報告書、pp.11-30。  
\*16：須藤 茂、猪股隆行、佐々木 寿、向山 栄(2007)：わが国の降下火山灰データベース。地質調査研究報告、58、9/10、pp.261-321。

第 12-2 表 (2) 活動履歴帳票 (白山火山)

12. 白山火山

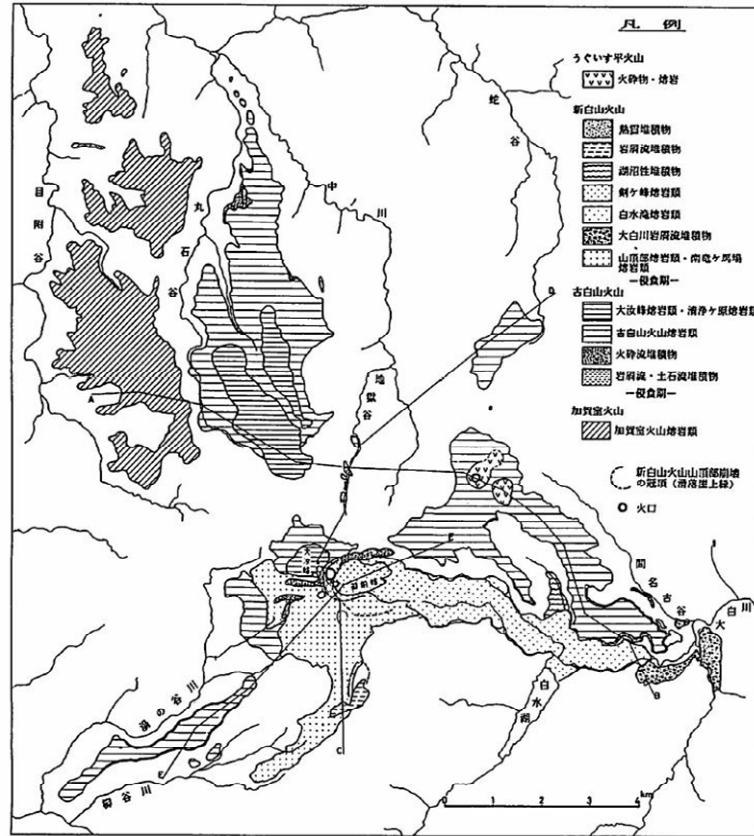


図 II-1 白山火山の地質図 (長岡・清水・山崎, 1985)

図 白山火山の地質図 東野(1991)

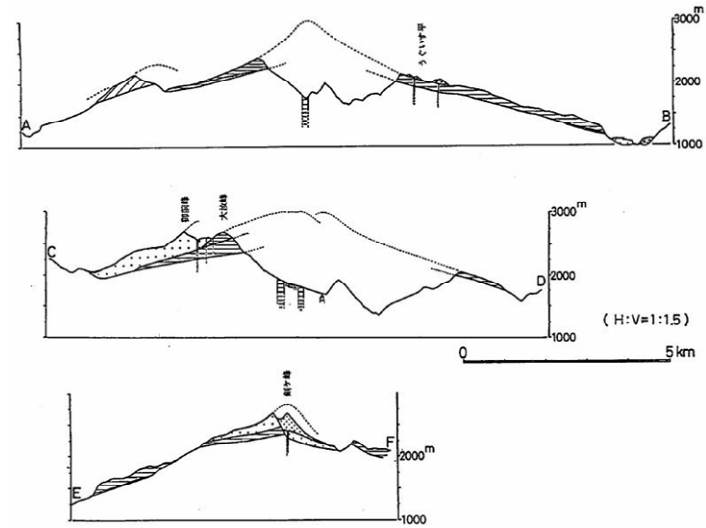


図 II-2 白山火山地質断面図 (長岡・清水・山崎, 1985)  
断面位置は図 II-1 に示してある。各記号は図 II-1 に同じ。

図 白山火山の地質断面図 東野(1991)

第12-3表 収集文献リスト（白山火山）

12 白山火山-1-

No	著者	発行年	題名	雑誌名	記載事項の有無										備考
					噴出量- 時間 階段図	噴出量 (体積)	方法	活動 年代	方法	層序	噴出物 分布	噴火 様式	マグマ 特性	その他	
12-a	遠藤邦彦	1985	2. 白山火山地域の火山灰と泥炭層の形成過程	白山高山帯自然史調査報告書	×	×	-	○	A ( <sup>14</sup> C)	○	○	○	×	-	
12-b	北原哲郎、堀伸三郎、小川義厚、 前川秀和、石田 孝司	2000	新白山火山の層序区分-年代測定結果による検討-	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	A (K-Ar, <sup>14</sup> C)	○	○	×	×	-	
12-c	酒寄淳史、長谷川雅世、小林 宏光	1997	新白山火山噴出物における岩石記載学的性質の時間変化	金沢大学教育学部紀要	×	×	-	○	D	○	×	○	○	-	
12-d	酒寄淳史、長谷川雅世、小林 宏光	1997	古白山火山の溶岩流層序と岩石記載	金沢大学教育学部紀要	×	×	-	○	D	○	×	×	○	-	
12-e	酒寄淳史、東野外志男、梅田浩司、 棚瀬充史、林信太郎	1999	古白山火山の溶岩のK-Ar年代	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	○	○	○	A, D (K-Ar)	○	○	×	×	-	
12-f	酒寄淳史、水出さやか	2001	新白山火山、翠ヶ池期噴出物の岩石記載学的特徴	金沢大学教育学部紀要	×	×	-	○	D	×	×	○	○	-	
12-g	酒寄淳史、東野外志男、中塚妙子	2004	白山山頂部における新白山火山本質岩塊の岩石記載学的特徴	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	D	×	×	×	○	-	
12-h	酒寄淳史、鈴木美肌、中塚妙子、 東野外志男、林信太郎	2006	白山山頂部に分布する新白山火山本質岩塊の全岩化学組成	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	×	-	×	×	×	○	-	
12-i	酒寄淳史	2014	白山火山東麓に分布する2200年前の火砕堆積物の特徴と生成機構	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	F	×	×	○	○	-	
12-j	高橋正樹、小林哲夫	2000	白山火山-過去の噴火を記録する運搬と火口群をめぐる-	フィールドガイド 日本の火山⑤	×	×	-	○	F	○	○	○	×	-	
12-k	高柳一男、守屋以智雄	1991	白山火山の火山灰層	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	B, C, D	○	○	○	×	-	
12-l	田島靖久、井上公夫、守屋以智雄、 長井大輔	2005	白山火山の最近1万年間の噴火活動史	日本地球惑星科学連合 講演要旨	×	○	a	○	D	×	○	○	×	-	
12-m	棚瀬充史、及川輝樹、二ノ宮淳 林信太郎、梅田浩司	2007	K-Ar年代測定に基づく両白山地の創成-更新世火山活動の時空分布	火山	×	×	-	×	-	×	×	×	×	-	
12-n	辻誠一郎	1996	白山弥陀ヶ原における完新世の泥炭層とテフラ群	第四紀露頭集	×	×	-	○	D	○	×	×	×	-	
12-o	長岡正利	1971	白山火山の地質と形成史	日本火山学会 講演要旨	×	○	a, c	×	-	○	×	×	×	-	
12-p	長岡正利、岩田次男、東野外志男、 山崎 正男	1985	加賀室火山 -白山火山にさきだつ火山-	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	-	×	○	×	○	-	
12-q	長岡正利、清水 智、山崎正男	1985	白山火山の地質と形成史	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	D	○	○	×	○	-	
12-r	東野 外志男、板谷 徹丸	1984	白山火山の形成年代 -K Ar年代測定より-	はくさん	×	×	○	○	A (K-Ar)	×	○	×	×	-	
12-s	東野外志男、長尾敬介、板谷徹丸、 坂田章吉、山崎正男	1984	白山火山及び大日ヶ岳火山のK-Ar年代	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	○	○	○	A (K-Ar)	×	○	×	×	-	
12-t	東野外志男	1991	白山火山の形成史概要	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	○	e	○	D	○	○	×	×	-	
12-u	東野外志男	1991	白山火山の歴史時代の活動	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	C	×	×	×	×	-	
12-v	東野外志男、辻森 樹、板谷徹丸	2005	白山の弥陀ヶ原から発見されたアルカリ岩質テフラ	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	D	○	○	×	×	-	
11-w	東野外志男	2006	新白山火山Hw-1テフラの構成物	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	D	×	○	○	×	-	
11-x	東野 外志男、酒寄 淳史	2006	約2,000年前の白山の噴火-刻ヶ峰溶岩・白水滝溶岩・南電火山灰から探る-	はくさん	×	×	-	○	B, D	○	○	○	○	-	
11-y	東野 外志男、酒寄 淳史	2007	南電ヶ馬場の観覧席に富むスコリアを含む新白山火山の火山灰	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	B, D	○	×	×	○	-	
11-z	東野 外志男	2011	白山火山の歴史時代の活動に関連ある史料（再考）	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	×	-	○	C	×	×	○	×	-	

◎:記載あり(優良) a:地質調査  
○:記載あり b:地質図等  
(噴出量の対象) c:引用  
●:降下火砕物 d:その他  
■:溶岩流 e:不明  
▲:山体一括  
A:放射年代  
B:層序  
C:本文書記載  
D:引用  
E:その他  
F:不明

第12-3表 続き

12 白山火山-2-

No	著者	発行年	題名	雑誌名	記載事項の有無										備考
					噴出量- 時間 階段図	噴出量 (体積)	方法	活動 年代	方法	層序	噴出物 分布	噴火 様式	マグマ 特性	その他	
12-a	栗野外志男	2014	新編 白山火山	石川県白山自然保護 センター研究報告	×	○	e	○	C,F	○	○	○	×	-	
12-b	堀江太一郎, 藤巻宏和	2001	両白山地・鮮新世以降の火山岩類の生成・進化モデル： 下部地殻の不均質とマグマミキシングに由来する組成の多様性と水平変化	日本地球惑星科学連合 講演要旨	×	×	-	×	-	×	×	×	×	-	
12-c	須藤 茂, 猪股隆行, 佐々木 寿, 岡山 栄	2007	わが国の降下火山灰データベース	地質調査研究報告	×	○	d	○	E	×	○	×	×	分布を引用し GISで算出	
12-d	山崎正男	1986	11. 白山火山の火砕流堆積物	文部省科学研究費自然 災害特別研究	×	×	-	○	D	×	×	×	○	-	
12-e	山崎正男, 富樫茂子, 守屋以智雄, 清水 智	1987	白山火山大臼川岩屑流堆積物中の木片の140年代	火山	×	×	-	○	A ( <sup>14</sup> C)	×	×	○	×	-	
12-f	山崎正男, 中西信弘, 松原幹夫	1988	白山火山の形成史	火山	×	○	a	○	D	○	○	○	○	-	
12-g	気象庁地震火山部	1988	富士山・白山・赤城山	火山機動観測実施報告	×	×	-	×	-	×	×	×	×	-	
12-h	気象庁 編	2013	54. 白山	日本活火山総覧 (第4版)	×	○	c	○	D	○		○	○	-	
12-i	町田 洋, 新井勇夫	2011	新編 火山灰アトラス 日本列島とその周辺	東京大学出版会	×	○	a,c	○	A,B,C,D	○	○	○	○	-	
12-j															
12-k															
12-l															
12-m															
12-n															
12-o															
12-p															
12-q															
12-r															
12-s															
12-t															
12-u															
12-v															
11-w															
11-x															
11-y															
11-z															

◎: 記載あり(優良) a: 地質調査  
○: 記載あり b: 地質図等  
(噴出量の対象) c: 引用  
●: 降下火砕物 d: その他  
■: 溶岩流 e: 不明  
▲: 山体一括

A: 放射年代  
B: 層序  
C: 本文書記載  
D: 引用  
E: その他  
F: 不明